

2024年度 第3回 地域事業支援会議 三重県士会版

「私たちの地域は私たちの手で」

今年度を締めくくる第3回地域事業支援会議は、3月9日(日)午前にはオンラインにて開催されました。全国47都道府県より総勢160名超の方が参加されました。当士会からは、伊藤正敏(菰野厚生病院)が出席しました。

日本作業療法士協会(以下、協会)として重点を置く“地域における作業療法士(以下、OT)の役割”について新しい情報を含め確認し、グループワークでは出席者による意見交換が行われました。山本会長からは標題の「私たちの地域は私たちの手で」の通り、協会が目指す地域で活躍するOTの未来に向け、力強い挨拶をいただきました。

谷川常務理事からは、協会の2025年度重点活動項目にあがる地域共生社会5か年戦略関連として、地域で活躍できる人材育成への取り組みが加速されること、介護予防・日常生活支援総合事業ガイドライン改定の読み解きなどについて発信されました。また、佐藤理事からも“静かなる有事”である今の日本の現状に対する危機感を持ちながらも、あらためてOTが得意とする生活やその質のアセスメント、総合事業の多様性に対応しその適切な選択の支援が必要とされていることをお伝えいただきました。

各事業の報告

1. 各事業より事例集、マニュアル、手引き…続々公開！

令和7年度4月以降、協会ホームページにて『サービス・活動C(短期集中予防サービス)実践事例集～ADL・IADL・趣味活動編～』を公開予定です！

引き続き「医療から地域(在宅)移行」「短期集中サービス」に関する事例をお寄せいただき、事例集として関係内外へ発信できるよう事例集を作成中です。令和7年度は「医療から地域(在宅)移行」に関する事例集の作成を目指してまいります。

『保険事業と介護予防の一体的実施事業作業療法士参画マニュアル』が完成しました。一体的実施事業の概要から事業の進め方、OT参画事例まで、参画に向けた実践のための手順書ができました。

引き続き『士会マネジメントQ&A』『地域包括ケアシステム参画の手引き(第2版)』もご活用ください。



2. OT参画実態調査のお礼

各市町村の地域支援事業へのOT参画状況を明らかにすることを目的に、1,741自治体ごと調査依頼をさせていただきました。979件のご回答をいただきました。士会事務局、選任者、ご回答いただきました皆様へ、ご協力に大変感謝いたします。結果につきましては各士会ごとフィードバックさせていただきます。



3. 作業療法士参画モデル事業 公募のお知らせ

第2期地域づくりに資する作業療法士参画モデル事業の公募が始まります。作業療法士が「地域づくり」関連の地域支援事業や地域での取り組みに参画することを応援します。詳しくは、4月頃に協会ホームページの会員向け情報＞地域社会振興関連＞地域包括ケアシステム関連をご参照ください。

グループワーク テーマ：士会マネジメント

三重県士会では既に29市町村に市町担当者を配置しています。また、協会から提示された市町担当者の役割について、分かりやすく明記した三重県独自のシートを作成し、自分のやるべきことを可視化しています。全国でもこのシートを参考にされてきています。今後、「三重モデル」を魅せられる活動していきたいと思っています。

編集後記

今年度は「笑顔の花プロジェクト」で皆様に川柳を募集し、とても素晴らしいカルタが出来上がりました。入選者の方には郵送させていただきましたがまだ少しカルタは残っています。ご希望の方はご連絡いただければ対応させていただきます。クライアントが笑顔になるためのツールとしてご活用いただければと思っています。また、来年度はさらに皆様に地域リハ部の活動がみえるように精進したいと思っています。ご協力よろしくお願いします。

担当：伊藤